

宅地開発予定地に放牧された3頭のヤギ。 除草&地域コミュニケーションに大活躍。



photographs by Ayasa Mitsui
text by Hiromi Mitsui

ヤギを放牧して、宅地開発予定地の除草を行うプロジェクトが、新川崎再開発エリアで始動。題して「エコやぎプロジェクト」。行っているのは、分譲マンションの開発・販売会社『ゴールドクレスト』だ。

約3万坪の建設敷地内は夏になると雑草の山となる。昨年までは草刈業者を入れて機械で刈り取っていた。年間、数百万の費用をかけて、機械除草をするのではなく、草食動物を飼って雑草を食べてもらうのはどうだろうか、取締役の伊藤正樹さんが提案。今年の3月から除草目的でヤギ3頭を放牧している。ヤギはとてもおとなしく、鳴き声も、においもほとんどしないので、近隣住民の迷惑になることはない。

ヤギは半年間のリースで、コストは90%削減した。薬品散布

もなく、ゴミも出ない。「敷地内にヤギがいることで、社員同士の会話は、ずみ、なごみます」と企画開発部の北川桃子さんと益田俊哉さん。敷地内でマンションを施工している現場監督さんは「山岳地帯で暮らすヤギは暑さと水濡れを嫌うから」と、高

床構造で雨よけのある小屋を造ってくれた。

近所のスーパーが今までゴミとして処分していた葉物をくれたり、学校帰りの子どもが立ち寄りヤギと触れ合ったり、園児たちの散歩コースにもなって、子どもたちの情操教育

にもなっている。今までは、雑草だけで景観がよくないと迷惑がられていた敷地にヤギがいるだけで、なごんだ風景となり、エコロジーが足元から広がっている。ヤギは、冬もこの場所で放牧されることが決まり、都会の小さなオアシスは継続するようだ。



①敷地内の雑草をもりもり食べるヤギたち。②かわいいヤギの小屋も造られた。③地域の人たちとの「ふれあい会」でも、ヤギは大人気（撮影：ゴールドクレスト）。④エコやぎプロジェクトの担当、益田さん（左）、北川さん。すっかりヤギと仲良し。



ゴールドクレスト ECOやぎプロジェクト www.goldcrest.co.jp/html/cc_ag/yagi.html